

📄 建設・不動産

オフィス移転に伴い移転残置物500人分の撤去処分

事例内容 ▶ 移転、閉鎖時の残置物処分

一般的なオフィス家具・什器類を500人分を仕分けして撤去



リユース・リサイクル買取物、廃棄物の仕分けとその撤去・処置を含めたワンストップ処分

解決

処分物の仕分けが出来ていない状況であったため、現地調査の上、最大限の廃棄量で一旦見積を提出させていただきました。その後、仕分けが進み次第物量の増減と物の買取・処分仕分け分別を当社が行い、都度見積り訂正を行いました。

一般的なオフィス家具の他、蛍光灯などの処理困難物も多数あり、リユース買取物とリサイクル買取物、廃棄物の仕分けとその処理を含めたワンストップ処分作業を行うことになりました。

< 移転残置物の処分 >

・撤去回収 ・リユースリサイクル買取 ・廃棄処分

< 対象物 >

・応接セット ・机/椅子 ・ロッカー ・冷蔵庫 ・大型金庫 ・蛍光灯など

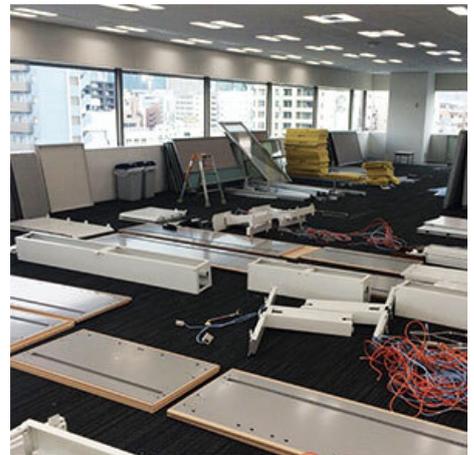
20日間の作業日程のうち、500人分のデスク解体とキャビネットの連結解体等を外部の業者も活用し10日で行い、その後該当品を撤去。最後に残った廃棄物を撤去。延べ70人・4トン車75台分（150トン）の物量を収集運搬。後から出てきた大量の特大金庫の解体・撤去なども実施。

準備期間も比較的短く移転当日まで小変更がありましたが、細かく対応し全て当社で対応することをご担当者の労力は最小限で済みました。

検討課題

東京に本店を置く大手ゼネコン企業様が、東京本店が移転することとなり、新店で使用しない応接セットや机椅子などの残置物の処分業者をお探しでした。転用物と残置物の交通整理などに追われており、処分する物の仕分けなどにも苦労しているようでした。

ワンストップで移転残置物の買取・廃棄処分



キャビネット等のオフィス什器を解体

20日間で4トン車75台分の物量を収集運搬

ポイント

オフィス什器の撤去買取

不要な什器類の廃棄処分

キャビネット解体

大型金庫解体